

第 30 回 関東甲信越地区技術職員懇談会のご案内

国大協関東甲信越地区の大学・研究所の技術職員の技術交流を深めるために、2022 年 4 月にこの懇談会を発足しました。技術の共有、技術協力、技術研修の共用などのつながりが深まることを目指しています。

毎回多くの技術職員の方々に参加いただき、各々の機関の話題を提供していただいております。開催は毎月第 2 週の金曜日となっております、お気軽にご参加ください。

<https://www2.kek.jp/engineer/tsukuba/kondan/>

記

日時：2025 年 7 月 11 日（金）16:00 ～

Zoom URL：

<https://us02web.zoom.us/join/08j7s-gtSbatbdUrJFXQxw>

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

【講演】

横浜国立大学 工学研究院等技術部 応用分析技術班 班長 岡安 和人 氏

講演タイトル：「横浜国立大学工学研究院等技術部における応用分析技術班の活動について」

概要：横浜国立大学工学研究院等技術部の組織は国大協モデルを元にし、大学法人化の際に現在の形（4 班体制）となった。2021 年度より班活動を強化する目的で月 1 回以上の班活動（主にミーティング）を行っていくことになり、2022 年度からは発信力の強化を各班で取り組むことになった。応用分析技術班としては地域貢献（小学生向け科学教室）に興味を持つ班員が多数のため、科学教室を行うための検討を始めた。今年の 8 月には横浜市の子どもアドベンチャーカレッジ（小学生向け職業体験プログラム）に参加し、横浜市内 20 名の小学生に向けて化学を題材にしたプログラムを開催する予定であり、そこに至るまでの取組みを紹介する。

次回以降のご案内

◆ 第 31 回 日時：2025 年 9 月 12 日（金） 16:00～

講演予定：KEK 物質構造科学研究所 大下 英敏 氏

タイトル：「J-PARC MLF における窒素ガス充填の中性子ビームモニターのコミッショニングと運用」

概要：茨城県東海村にある J-PARC の物質・生命科学実験施設（MLF）は世界最高強度を誇るパルス中性子源である。MLF のような大強度中性子環境下において動作する中性子ビームモニ

ターとして、窒素ガスが充填された中性子ビームモニター（N2-NBM）が開発されている。我々は、2023年2月にN2-NBMのコミッショニングをおこない、中性子感度、中性子透過率などの検出器性能の評価を実施した上で、2024年6月から実際の中性子実験においてN2-NBMの運用を開始している。本講演では、それらコミッショニングの結果と運用の状況について紹介する。

◆ 第32回 日時：2025年10月10日（金） 16:00～
講演予定：新潟大

◆ 第33回 日時：2025年11月7日（金） 16:00～
講演予定：埼玉大

◆ 第34回 日時：2025年12月12日（金） 16:00～
講演予定：長岡技科大

以上

関東甲信越地区技術職員懇談会世話人一同